明るいニュース

一般社団法人
日本善行会
〒100－0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03)3212－6996
FAX (03)3212－6998
URL:http//www.zenkoukai.or.jp
メール :info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人　相澤　克也

善行は、社会を照らすともしび。

職業教育と専門学校

群馬県・前橋市中央カレッジグループ
学校法人 有坂中央学園・学校法人 中央総合学園
代表理事長　中島 利郎

最近の我が国における経済社会の変化はまことに著しく、高度経済成長期からバブル期までとは比較にならない程、私たちを取り巻く環境は大きな変化を遂げています。

特にバブル期の雇用環境は、求職数より求人数が大きく勝っていた為、若いと言うだけで、ビジネスマンとして必要とする基本的な礼儀作法いわゆるビジネスマナーそして読み・書き・計算の能力が備わっていなくても、採用された時代でありました。ましてや専門的能力（知識・技能・技術等）などはまったく問われることはありませんでした。しかし学歴的には大学・短大は卒業していますが、といった具合でありました。言い替えれば、企業・社会が、雇用の需要と供給のバランス如何だけで判断をし、真の職業能力が備わっていなくても採用をしてきたものと思われます。

職業能力は、身体いわゆる五体で必要な知識・技能・技術を修得し、与えられた課題を着実に適切に実践でき、期待された成果を挙げられる能力を指すのです。

バブル経済後、国際的な影響により日本経済の牽引役であった金融・証券・生保・損保そして建設業は大打撃をもろに受けることとなりました。また、これらの要因等が重なり、明治時代から面々と引き継がれてきた日本国の国家としての基本的な在り方、政治、行政、教育、地方自治においても制度疲労を起こしており、総てにわたり見直しを余儀なくされています。

特に教育は国家にとって最も重要な課題であり、「国家百年の計は人を植えるに在り」と申します。

子供から大人の成長過程は次の通りです。

0歳～五歳まで　身体を動かすことを教える。突進攻撃・推進力を養う。動く・歩くことで積極性が身につき又数多くの経験をする。

五歳～十歳まで　学習することを教える。動いた結果さまざまな疑問・工夫・アイデアが生まれる。知識や知恵が吸収される。

十歳～十五歳まで　親と離れて対人関係を学ぶ。友人との和合性、守ること、耐えること、沈黙することの大切さを教える。

十五歳～二十歳まで自己主張を教える。話をし文章で自分の意志を適切に伝える、発表し主張する言葉の能力を養う。ただ言うだけでなく礼に沿わねばならない。

二十歳～二十八歳まで人間的魅力を養う。人に奉仕する精神、信用、信頼の大切さを教える。

なぜ二十五歳までなく二十八歳かというと、人間的魅力は五年では身につかないからである。

このように成長段階がありますが、この世に生を受け人間として「生きる」そして「働く」ことの大切さを、我が子に幼少の頃から教え続けることが親としての責務であり、社会全体の使命ではないかと考えます。このことにより職業に就くことの意義と働くことの大切さを修得する人材になってゆくものと信じます。

成人（大人となること）として社会が認める最大の要因は、ひとり立ちして「生きてゆける人」、いわゆる生きる為に「働ける人」であります。

それでは「働ける人」とはどのような人でありましょうか。

それは、ひと言で云うと社会に出て「職業」に就くことであります。

職業は、第一次産業から第二次、第三次産業とあらゆる産業分野に分かれています。その産業分野それぞれに必要不可欠な職業が存在しています。そして、各産業分野それぞれに必要な職業群も、社会の変化に伴って変化をしてゆきます。この変化に対応できる知識・技能・技術こそが、常に社会から求められる職業能力といえましょう。

ふる里自慢

福岡県筑後支部

筑後の歴史と名所案内

柳川市は、福岡県の南部筑後地方の南西部に位置する市です。水郷柳川として有名で、街の中を縦横に流れる「掘割」をゆったりと一時間十分の舟遊びができます。しだれ柳が映え、赤煉瓦の並倉も風情が感じられます。

夏は幻想的な夜の『灯り舟』冬はどんこ舟に火鉢を入れたこたつを乗せてポカポカ温まりながら進む『こたつ舟』など一年中を通して風情漂う川下りを楽しめます。また市内には、摂氏五十度前後の天然温泉が湧き出ていて、その温泉を利用した足湯や宿もあり、癒しの場となっています。

二十世紀の日本の近代文学に偉大な足跡を残した詩聖・北原白秋が生まれ育ち、最も愛した街柳川。北原白秋は、聴いたら誰もが知っている童謡『この道』『待ちぼうけ』『からたちの花』『雨ふり』など今も語り継がれる作品を数多く残しています。

白秋生家や白秋記念館もあり、北原白秋を身近に感じることができます。

柳川地方には、昔から女の子が生まれると初節句に雛壇と一緒に色とりどりの『さげもん』を飾り、盛大に祝うのが習わしです。『さげもん』とは、縁起の良い鶴やウサギ、ひよこ、這い人形等の布細工と鮮やかな糸で巻き上げた柳川まりを組み合わせて吊るした飾りです。

女の子の幸せと健康、無病息災、良縁を願う『さげもん』は、親から子・子から孫へと今も受け継がれています。『柳川雛祭り』『さげもんめぐり』は、二月中旬頃から四月三日まで開催され、『お雛様パレード』・『流し雛祭り』も行われていて多くの観光客で賑わいます。

有明海の恵みと広大な筑後平野に抱かれた柳川には、約二千年前の弥生時代から営まれる悠久の歴史があります。今は、初代柳川藩主・立花宗茂の王室、闇千代の生誕四百五十年に合わせて立花宗茂と闇千代を主人公にした大河ドラマの誘致活動が始まっています。

「支部だより」

兵庫県支部

秋季善行表彰伝達式の開催

令和元年度秋季善行表彰伝達式を、令和元年十二月八日（日）神戸市中央区の湊川神社「楠公会館」にて、松本剛明衆議院議員、末松信介参議院議員（秘書中西健士氏）を始め、川島隆司兵庫県青少年補導センター連絡協議会会長、清水玲子兵庫県青少年補導委員連合会会長等多数のご来賓のご臨席を賜り盛大に開催した。

表彰伝達式は二部制とし、第一部表彰伝達式が、司会に久保事務局長の下、開会式の幕があけ、髙部副支部長の開会のことばがあり、服部支部長から受賞者一人ひとりに、表彰状、善行章、略章等が授与された。

続いて、ご来賓の川島隆司兵庫県青少年補導センター連絡協議会会長より祝辞を賜り、また、松本剛明衆議院議員（代理小松利仁事務所所長）より来賓代表挨拶を賜った。受賞者代表として、清水玲子兵庫県青少年補導委員連合会会長よりお礼の言葉をいただいた。本式典に対し、多数の祝電、メッセージ等を松田副支部長より披露し、最後に、有野副支部長の閉会の言葉で、第一部が閉会した。

引き続き隣室において、第二部の祝賀懇親会が行われ、司会に柳瀬事務局次長により開会、服部支部長より開会の言葉があり、お祝いの言葉を末松信介参議院議員（秘書中西健士氏）、第二部からお見えになった松本剛明衆議院議員より賜り、乾杯を寺澤支部相談役の音頭で祝宴が始まり、盛況で和やかな祝宴となり、最後に閉会のことばを宮村副支部長から次回の再会（支部新年交礼会）を約束、参会者のご多幸をご祈念申し上げ散会した。

2面へつづく

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの賛助金により運営されております。広く会員を募集しております。